

様式第2号 (第3条関係)

行政視察等報告書

2026年 1月13日

米子市議会議長様

(会派の場合)

会派名 よなご・未来

代表者 国頭 靖

提出者 土光 均

(議員の場合)

議員名



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査	<input type="checkbox"/> 行政視察	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動
	<input type="checkbox"/> 研修会への参加	<input checked="" type="checkbox"/> 会議への参加	
参加者	土光均		
期日	2026年 1月 9日から 2026年 1月 9日まで		
〔視察等年月日・場所・内容〕			
〔日時〕 2026年1月9日 14:45～17:20			
〔場所〕 京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町 721-1 TKPガーデンシティ京都タワーホテル 5F カンファレンスルーム 5D			
〔内容〕 島根県原子力安全顧問会議 (第1回原子炉施設の安全対策 小会議) の傍聴 〔議題〕 (1) 島根原発3号機の新規制基準対応状況の振り返り (2) 小会議に係る全般的事項 (3) 島根原発3号機の審査等に係る論点項目 ① 重大事故の想定について ② チャンネルボックス厚肉化による重大事故への影響について			

③重大事故対策設備について

〔視察等の目的〕

島根原発3号機の稼働を目指して、新規制基準の適合性審査が行われている中、立地県である島根県が原子力安全顧問会議を開催し、別の視点から議論をしている。この会議のようす、議論の内容を直接把握するため

〔視察等要旨〕

傍聴者は私を含め2人。

安全顧問の参加人数は7人、中電側(9名)、島根県側(3名)

(議題)

(1) に関しては、新たに就任の顧問(3人)がいるということで、3号機の特徴(2号機と比較して)、何が異なるかなど、基礎的な事柄に関して、中電からの説明。

(2) は、県から今後どのような論点で、この会議を進めていくかの説明。

(3) は①②③について、中電から説明があり、それに対して、個々の顧問が質問、意見をするという形ですすめられた。

会議について以下のように進行された

・会議の司会進行は、県が主導する。

・顧問同士の議論、意見交換はなし。

・中電の説明に対して、個々の顧問が、自分の問題意識(専門知識)を元に、中電に質問、意見をする。

・会議の結果として、何らかの結論を出すようなことをしない。

〔視察等(説明)要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点〕

・鳥取県においても、原子力安全顧問会議を設置しており、島根県のそれと比較して、それぞれの会議の位置付け、進行の仕方を傍聴することにより知ることができた。

・本市においても、島根原発3号機の動向は大きな影響がある。

・その動向の中で、両県の安全顧問会議は重要な役割を果たすものと思われる。

・今回の視察により、島根県の安全顧問会議の実状を把握することができ、そして、それと比較することにより、鳥取県の安全顧問会議に関しても理解が深まった。

・市としても、今後、鳥取県の安全顧問会議に対して、意見照会等をする場面があると思われるので、その際有効に対処できる手がかりを得ることができた。

経 費	旅 費	27,690円
	合計	27,690円

(注) 氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

旅費計算表

令和8年1月9日

京都市

土光議員
研修

月 日	区 間	鉄道路線 名	区 間キロ数	目的地まで のキロ数	運 賃	グリー ン	急 行 料 金		宿 泊 手 当 (朝食付の額)	宿 泊 費	
							特 別	新 幹 線			
1/9	伯耆大山～岡山	JR	163.9		6,380		2,730				
(木)	岡山～京都	JR	219.3					4,360			
	(会議傍聴)										
	京都～岡山	JR	219.3		6,380			4,360			
	岡山～伯耆大山	JR	163.9				2,730				
計	議 員 旅 費			26,940	12,760		5,460	8,720	0	0	0
	随 行 旅 費			0							

出席議員 土光議員

議員旅費	26,940 × 1名 =	26,940 円
伯耆大山パーク&ライド		400 円
自宅から伯耆大山駅までの自家用車代	7km × 25 × 2 =	350 円
	計	27,690 円